

のり漁場栄養塩情報（第12報）

宮城県のり養殖安定化対策本部

栄養塩分析の結果（のり研幹事等提供サンプル）をお知らせします。

漁場名	採取月日	水温(℃)	三態窒素 ($\mu\text{g-at/L}$)	リン酸態リン ($\mu\text{g-at/L}$)	備考
矢本沖	1月27日	7.5	10.2	0.7	優B
生草	1月27日	—	8.7	0.3	優B
生草	1月28日	7.0	3.8	0.2	優B
生草	1月31日	6.8	3.0	0.2	優B
里浜内A	1月30日	6.7	3.5	0.2	
里浜内B	1月30日	6.7	2.4	0.2	
里浜内D	1月30日	7.0	1.0	0.1	
里浜沖A	2月1日	7.0	0.2	0.1	優B
里浜沖B	2月1日	7.0	2.9	0.1	優B
室浜	2月1日	—	4.8	0.1	優A～B
大浜	2月2日	—	2.2	0.1	優B～1等
矢本沖	2月3日	8.3	1.0	0.2	1等級

生産期の栄養塩濃度の基準

- ・三態窒素は、 $5 \mu\text{g-at/L}$ 以上で色調が維持され、 $3 \mu\text{g-at/L}$ を下回ると色落ちする傾向にあります。
- ・リン酸態リンは、 $0.23 \sim 0.45 \mu\text{g-at/L}$ がのり養殖に最低限必要な濃度（水産用水基準）となっています。

・本情報は、漁場環境の把握だけでなく、データを蓄積することにより、気象・海況と栄養塩濃度の増減、のりの品質等の関係を解析するためにも必要となる重要なものです。

のり研幹事情報及び栄養塩サンプルの積極的な提供をお願いいたします。

※栄養塩分析用の海水はサンプルチューブの8分目を目処に入れて凍結してください。チューブいっぱいには海水を入れて凍結するとチューブが破損し、分析できなくなります。

※サンプルチューブは新しいものを使用してください。チューブの内側が汚れていると、栄養塩濃度の値を正しく測定できません。

・次回の発行は2月12日（木）に予定しています。サンプル海水は2月10日（火）までに宮城県水産技術総合センターに届くよう、お願いいたします。

・本情報は、宮城県水産技術総合センターのホームページでも御覧になれます。

URL <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>

調査機関及び問合せ先 TEL

宮城県水産技術総合センター：0225-24-0130

宮城県仙台地方振興事務所水産漁港部：022-365-0192

宮城県漁協（七ヶ浜町水産振興センター）：022-357-2543